持続可能な地域観光のデザイン

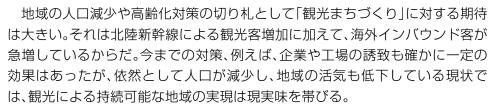
北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科

敷田 麻実 教授

研究分野

持続可能性 観光 地域資源

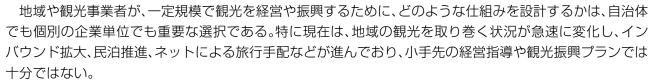
観光はレジャー、つまり「楽しみ |だと思われ、科学や計画とはほど遠い分野だ と思われてきた。しかし、海外からのインバウンド観光客2000万人の時代に 入って、もはや徒手空拳ではやっていけない。今こそ、地域は観光戦略を持って 観光をデザインする時代に入った。では魅力ある観光地や観光を地域で持続す るために「研究」で支援できることは何か?



観光はその点で、地域資源をうまく活用して、来訪者が地域で消費することで 地域経済が潤うという、わかりやすい構図で地域づくりに対する効果を説明で きる。特に、もともと地域にある資源をうまく活用することで、投資効率がよい (つまり初期投資が少ない)地域戦略だと考えられている。

しかし、それが成立するには条件があるはずだ。その条件とは、規模が拡大し た時にも投資効率を維持できるかと、この効果を一定期間持続できるか、つまり

持続可能であるかということである。そこに研究や研究に基づくイノベーションの必要性が生じる。



敷田研究室では、各自治体や企業の持つ「資源」に焦点を当て、その資源価値を高める研究とその実現の ための組織や制度のデザイン、さらには人材育成システムの提案などに努めるとともに、観光におけるイノ ベーションを基にした、持続可能な地域づくりも、ファシリテート可能である。

2020年に東京はオリンピックー色に染まるが、地方の地域も独自の輝きを維持するために、プレイス ブランディングとそれを支える高度職業人材の育成をはじめとした「地域力回復プラン」作成を進める必要が あり、観光系企業や地域系コンサルタント、観光協会と大学などの研究組織の連携が強く求められている。



プレイスブランディング、観光地域プラン・観光戦略策定、組織ファシリテーション

連携を希望する企業の業種・技術

地域系コンサルタント、観光系企業、地域NPO、地域再生をめざす自治体(地域最大のサービス主体)









『研究開発』と『事業化』をサポートする

いしかわ大学連携インキュベータ(i—BIRD)は、石川県立 大学・金沢大学・金沢工業大学・北陸先端科学技術大学院大 学等が有する研究成果の活用や大学との共同研究展開に より、新事業創出を目指す皆様の活動を支援する施設です。 当施設の様々な取り組み内容や入居者の事業活動について、 ご紹介します。

> vol.16 活動のご紹介



石川県観光PR マスコットキャラクター ひゃくまんさん

髭は輪島塗、眉・全身には金 箔が施され、加賀友禅柄の草 花や九谷五彩の色彩を全身 に取り入れ、石川県の伝統文 化をぎゅっと凝縮したキャラ クターです。

主な内容

- 1. 入居者の紹介
- 2. Matching HUB kanazawa 2015 Autumn
- 3. 施<mark>設概要等</mark>
- 4. i-BIRDの活動
- 5. 産学連携の紹介